

住友ベークライト株式会社 2024年3月期第3四半期 決算説明会
主な質疑応答議事録

日時：2024年2月5日(月) 15時00分～16時00分

説明者：取締役常務執行役員 平井 俊也

【全社的な事項】

Q：次の中期計画に向けて、株主還元の考え方、資金使途を教えてください

A：株主還元については優先的に考えていかないといけないと、まさに社内で議論をしているところである。然るべきタイミングでご説明できる機会を持ちたいと思う。

【半導体関連材料セグメント】

Q：半導体関連材料の需要回復の見通しについて教えてください。

A：モビリティ用途は好調であるが、民生用途は低調である。色々な見方があり非常に難しいが、回復は来年度後半と思う。

Q：地域別の動向はどうか？

A：当社の拠点については、中国はパワー系など好調であるが、シンガポール、台湾では回復が鈍い。

Q：モビリティ戦略3製品の進捗はどうか？

A：80億円の今期目標に対し、予定通り進捗している。

【高機能プラスチックセグメント】

Q：2Q対比で増収増益となったが、その背景について教えてください

A：自動車の生産台数の回復に加え、中国を中心としたアジアにおいてスマホ・PC等の民生用電気機器の材料が在庫調整から戻りつつある。

Q：3Qから4Qへの動きはどうか？

A：数量は回復傾向にある。欧米はまだ少し調子が悪いが、アジアが牽引している。

【クオリティオブライフ関連製品】

Q：QOLで数量が伸長しているのは何か？

A：全体的に堅調に推移している中で、フィルム・シートの医薬品包装用途は引き続き伸長している。

以上